

# 教育委員会制度 改革への考えは？

教育  
委員長

## 国の動向を見守る



吉原 美智恵 議員



教育委員会の今後は

【吉原】改革案は、新教育長の任期を3年とし、首長に任命権を与えるなど、教育行政への首長の関与を拡大する。

これからの教育委員会の役割と活動の考え方は。

【教育委員長】本町では、町長と教育委員会が一定の中立性は保ちながら、意思疎通をはかっている。今後の改革の動向を見守っていく。

【吉原】保・小・中連携など、他町に先がけて

いる教育行政ではあるが、民意をくむことができているかは疑問である。

町長と教育委員会でも民意を反映した施策について話し合う協議会を持つてはどうか。行財政改革の中で学校改修の考え方や少子化・定住化対策などのよりよい政策提案へとつながっていくのではないかと。

【教育委員長】国の制度ができれば、そのなかですっかり対応していく。

# 「土曜授業」の対応は？

教育  
委員長

## 今は考えていない

【吉原】文科省は、教育委員会の判断で「土曜授業」を行うことができることとしている。

平井知事は、市町村に実施を呼びかけているが、地域と現場の声をどのように生かし対応していくのか。

【教育委員長】学校週5日制の成果や課題を検証することが大事で、地域のニーズや現場の声は検証材料のひとつである。

【吉原】文科省は、保護者などからの意見の調査が必要ではないか。地域の人財を生かし、有意義な課外活動を始めてはどうか。

【教育委員長】各学校の工夫もあり、見守っていく。

本町では土曜日の受け皿は充実しており、「土曜授業」は必要ない。

【吉原】県民アンケートでは85%が支持をしている。本町でも保



自然のなかでの体験活動